

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月20日

近鉄グループホールディングス株式会社
(証券コード 9041)

<https://www.kintetsu-g-hd.co.jp>

連結損益計算書

(単位：百万円,%)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率	増 減 要 因	2020/3期予想 (2020年3月公表)	増 減
営業収益	1,236,905	1,194,244	△ 42,660	△ 3.4	「セグメント別業績」参照	1,204,000	△ 9,755
営業利益	67,779	49,380	△ 18,399	△ 27.1	「セグメント別業績」参照	44,000	5,380
営業外収益	11,533	9,065	△ 2,468	△ 21.4			
うち持分法による投資利益	7,140	4,848	△ 2,291	△ 32.1			
営業外費用	12,183	11,220	△ 962	△ 7.9			
うち支払利息	8,611	7,992	△ 619	△ 7.2			
経常利益	67,129	47,224	△ 19,904	△ 29.7		40,000	7,224
特別利益	9,061	6,962	△ 2,098	△ 23.2	収用補償金 △1,442 工事負担金等受入額 △624		
特別損失	20,669	18,112	△ 2,557	△ 12.4	収用等圧縮損 △1,330 工事負担金等圧縮額 △633		
親会社株主に帰属する 当期純利益	35,962	20,561	△ 15,400	△ 42.8		15,000	5,561

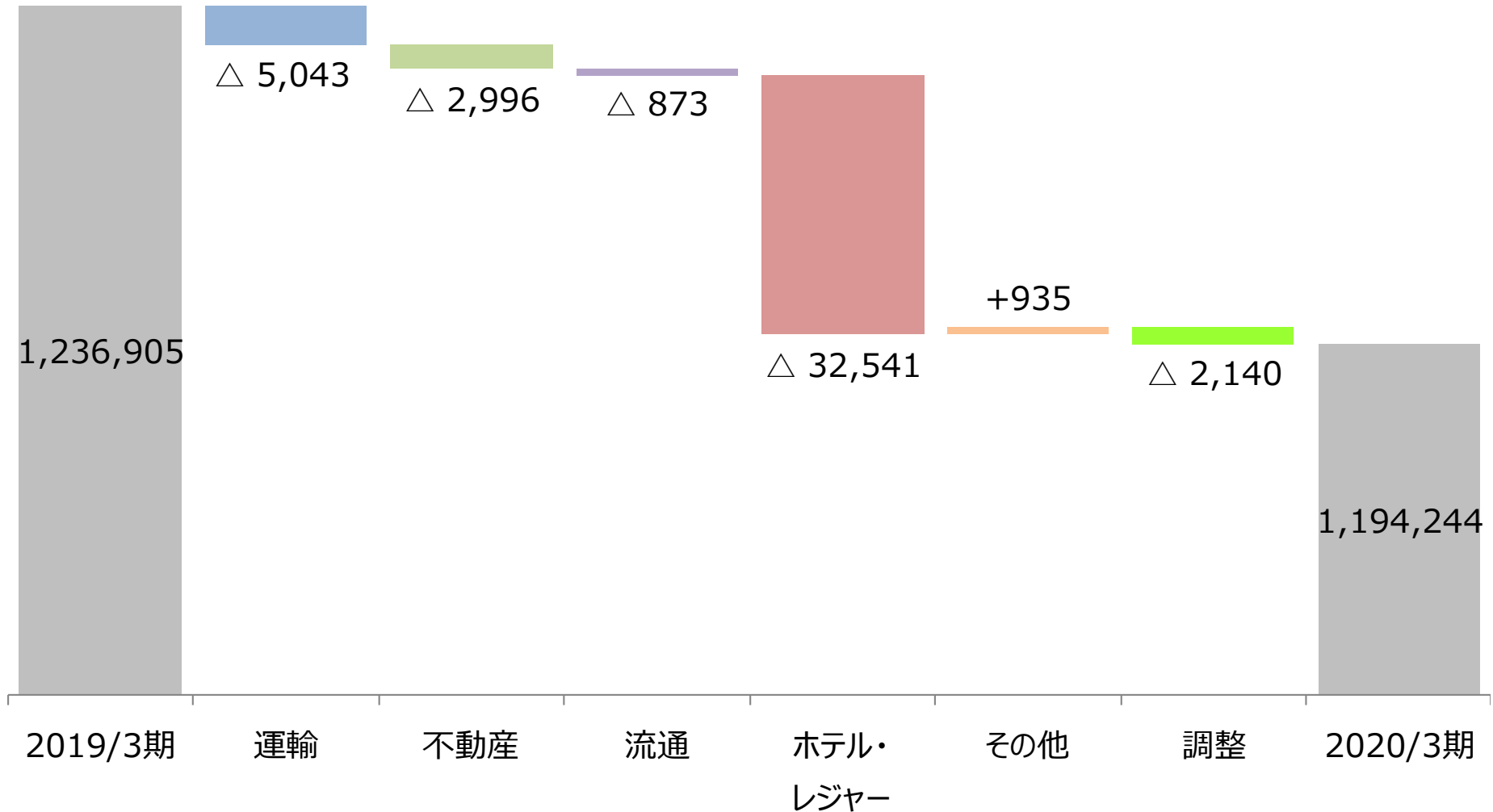
連結子会社数 81社（前期末比1社減）

持分法適用会社数 8社（前期末比増減なし）

決算ポイント（営業収益）

上半期は5月の大型連休期間の行楽需要により、主に鉄軌道部門や旅行部門が好調であったが、
本年1月以降、各部門での新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく減収

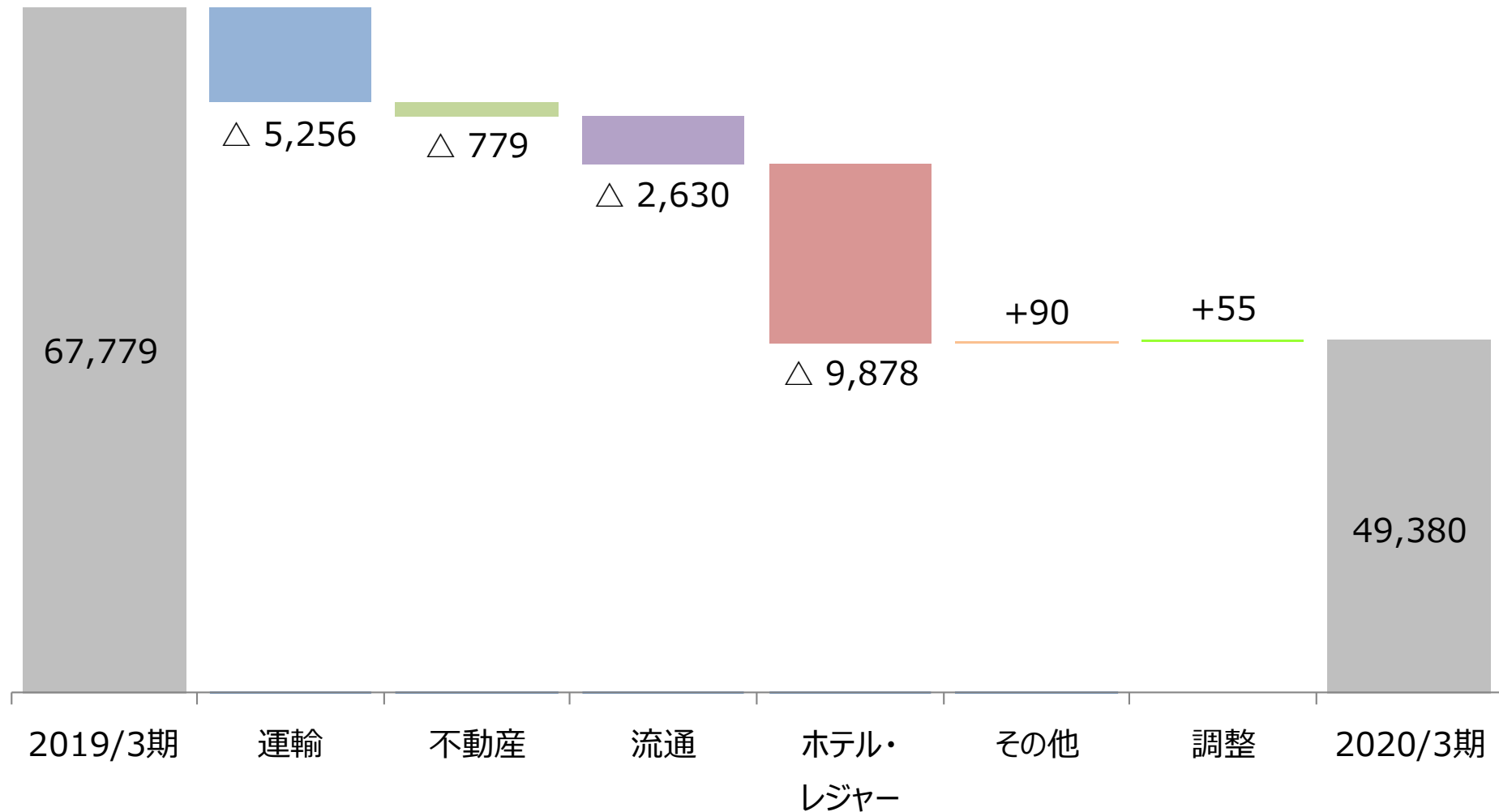
（単位：百万円）



決算ポイント（営業利益）

各部門での新型コロナウイルス感染症拡大による減収により減益

（単位：百万円）



セグメント別業績

(単位：百万円,%)

		2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率	2020/3期予想 (2020年3月公表)	増 減
運 輸	営業収益	226,754	221,711	△ 5,043	△ 2.2	222,000	△ 288
	営業利益	32,943	27,686	△ 5,256	△ 16.0	26,700	986
不 動 産	営業収益	164,245	161,248	△ 2,996	△ 1.8	164,000	△ 2,751
	営業利益	18,698	17,919	△ 779	△ 4.2	17,500	419
流 通	営業収益	393,670	392,796	△ 873	△ 0.2	393,000	△ 203
	営業利益	7,783	5,152	△ 2,630	△ 33.8	5,000	152
ホテル・レジャー	営業収益	481,818	449,276	△ 32,541	△ 6.8	453,000	△ 3,723
	営業利益	6,185	△ 3,693	△ 9,878	—	△ 7,200	3,506
そ の 他	営業収益	18,174	19,110	935	5.1	19,000	110
	営業利益	1,491	1,581	90	6.1	1,400	181
調 整	営業収益	△ 47,757	△ 49,898	△ 2,140		△ 47,000	△ 2,898
	営業利益	677	733	55		600	133
連 結	営業収益	1,236,905	1,194,244	△ 42,660	△ 3.4	1,204,000	△ 9,755
	営業利益	67,779	49,380	△ 18,399	△ 27.1	44,000	5,380

(単位：百万円,%)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率
営業収益	226,754	221,711	△ 5,043	△ 2.2
鉄軌道	156,444	152,724	△ 3,720	△ 2.4
バス	34,636	33,721	△ 915	△ 2.6
タクシー	11,537	11,089	△ 447	△ 3.9
鉄道施設整備	28,347	26,710	△ 1,637	△ 5.8
その他運輸関連	21,426	22,226	799	3.7
調整	△ 25,637	△ 24,760	877	
営業利益	32,943	27,686	△ 5,256	△ 16.0
(主 な 内 訳) 鉄軌道	30,001	25,610	△ 4,391	△ 14.6
バス	997	385	△ 612	△ 61.4

《鉄軌道》

- ・ 昨年5月に大型連休期間の増収効果があったが、本年1月下旬以降、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う出控えにより減収
- ・ 営業利益は、防災対策等による修繕費の増加もあり減益

近畿日本鉄道 運輸成績

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率
輸送人員 (千人)	578,037	571,971	△ 6,066	△ 1.0
定期外	235,556	230,086	△ 5,470	△ 2.3
定期	342,481	341,885	△ 596	△ 0.2
営業収益 (百万円)	156,444	152,724	△ 3,720	△ 2.4
旅客収入	149,292	146,029	△ 3,263	△ 2.2
定期外収入	101,687	98,658	△ 3,029	△ 3.0
定期収入	47,605	47,371	△ 233	△ 0.5
運輸雑収等	7,151	6,694	△ 457	△ 6.4
営業利益 (百万円)	30,001	25,610	△ 4,391	△ 14.6

(単位：百万円,%)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率
営業収益	164,245	161,248	△ 2,996	△ 1.8
不動産販売	77,725	75,597	△ 2,127	△ 2.7
不動産賃貸	47,374	47,713	339	0.7
不動産管理	43,408	43,583	175	0.4
調整	△ 4,262	△ 5,646	△ 1,383	
営業利益	18,698	17,919	△ 779	△ 4.2
(主な内訳) 不動産販売	5,298	4,265	△ 1,033	△ 19.5
不動産賃貸	11,892	12,063	171	1.4

《不動産販売》

- ・ 戸建住宅の販売戸数の減に加え、手数料収入の減もあり減収減益

《不動産賃貸》

- ・ 主要賃貸物件が堅調に推移したことに加え、「近鉄博多ビル」等新規物件の稼働もあり増収増益

(単位：百万円,%)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率
営業収益	393,670	392,796	△ 873	△ 0.2
百貨店	282,220	283,047	826	0.3
ストア・飲食	112,647	111,039	△ 1,608	△ 1.4
調整	△ 1,198	△ 1,291	△ 92	
営業利益	7,783	5,152	△ 2,630	△ 33.8
(主 な 内 訳)				
百貨店	5,812	4,423	△ 1,389	△ 23.9
ストア・飲食	1,970	728	△ 1,241	△ 63.0

《百貨店》

- 消費税率の引き上げに伴う消費マインドの低下に加え、新型コロナウイルス感染症拡大によるインバウンドの減等があったが、内装子会社の大口受注等により増収
- 営業利益は、百貨店売上高の減に加え、システム関連費用の増加もあり減益

《ストア・飲食》

- スーパーマーケットは新規店舗の出店により増収となったが、新規店舗の開業費用がかさんだほか、主に飲食事業で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減収減益

(単位：百万円,%)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 率
営業収益	481,818	449,276	△ 32,541	△ 6.8
ホテル	57,389	51,559	△ 5,830	△ 10.2
旅行	411,821	385,362	△ 26,458	△ 6.4
映画	3,618	3,882	264	7.3
水族館	9,175	8,626	△ 549	△ 6.0
調整	△ 186	△ 153	32	
営業利益	6,185	△ 3,693	△ 9,878	—
ホテル	1,481	△ 3,749	△ 5,231	—
旅行	2,532	△ 1,608	△ 4,141	—
水族館	1,975	1,443	△ 532	△ 26.9

(主な内訳)

《ホテル》

- 「ウェスティン都ホテル京都」の大規模リニューアルに伴う客室の一部売り止めや、京都駅周辺等での近隣ホテルとの競争激化に加え、新型コロナウイルス感染症拡大により減収、開業費用等もあり損失計上

《旅行》

- 新型コロナウイルス感染症拡大により国内旅行、海外旅行ともキャンセルや出控えが生じ減収、損失計上

(参考) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響

2020年3月期連結収支実績における新型コロナウイルス感染症拡大に伴うセグメント別の営業収益および営業利益の影響額は以下の通りです。

(単位：億円)

	営業収益	営業利益
運 輸	△ 70	△ 65
不 動 産	△ 10	△ 5
流 通	△ 43	△ 10
ホテル・レジャー	△ 346	△ 80
連 結	△ 470	△ 161

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 要 因
流動資産	289,716	257,302	△ 32,414	受取手形及び売掛金 △19,674 旅行前払金 △8,081
固定資産	1,643,828	1,631,014	△ 12,813	退職給付に係る資産 △7,999 投資有価証券 △4,320
資産合計	1,936,417	1,891,300	△ 45,117	
流動負債	576,515	516,707	△ 59,807	1年以内償還社債 △34,788 旅行前受金 △ 24,674
固定負債	946,851	969,296	22,444	社債 55,648 長期借入金 △37,798
負債合計	1,523,367	1,486,004	△ 37,363	
純資産合計	413,050	405,295	△ 7,754	
うち利益剰余金	102,039	110,288	8,249	純利益 20,561 配当金 △9,524 土地再評価差額金取崩 △2,153
うちその他の包括利益累計額	93,238	79,737	△ 13,501	
負債・純資産合計	1,936,417	1,891,300	△ 45,117	
借入金・社債残高	1,055,904	1,058,274	2,370	
借入金	736,264	713,774	△ 22,489	
社債	319,640	340,500	20,860	
コマーシャル・ペーパー	—	4,000	4,000	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	102,319	58,266	△ 44,053
うち、税金等調整前当期純利益	55,521	36,075	△ 19,446
うち、売上債権の増減額	△ 3,824	19,650	23,475
うち、仕入債務の増減額	△ 3,379	△ 14,111	△ 10,732
うち、たな卸資産の増減額	4,582	△ 4,329	△ 8,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 64,148	△ 57,440	6,708
うち、投資有価証券の売却	1,576	28	△ 1,547
うち、固定資産の取得による支出	△ 73,474	△ 64,591	8,882
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 38,905	△ 12,952	25,952
うち、借入金・社債の増減額	△ 24,558	1,732	26,290
現金及び現金同等物の増減額	△ 611	△ 12,302	△ 11,690
現金及び現金同等物の期首残高	52,763	52,089	△ 674
現金及び現金同等物の期末残高	52,089	39,787	△ 12,302

設備投資 借入金・社債残高

(単位：百万円)

	2019/3期	2020/3期	増 減	増 減 要 因
設備投資	78,229	68,907	△ 9,322	
運 輸	27,970	28,915	945	
（うち鉄軌道）	(24,821)	(24,455)	(△ 366)	新型名阪特急「ひのとり」新造
不動産	34,927	19,912	△ 15,014	前期「都シティ東京高輪」リース取得、 「近鉄銀座中央通りビルⅡ・Ⅲ」取得
流 通	7,739	9,699	1,959	
ホテル・レジャー	6,004	8,792	2,787	
その他	1,254	1,230	△ 24	
調 整	333	356	23	
借入金・社債残高	1,055,904	1,058,274	2,370	
EBITDA	119,975	103,304	△ 16,671	
借入金・社債 / EBITDA	8.8	10.2	1.4	

減価償却費・EBITDA

(単位：百万円)

		2019/3期	2020/3期	増 減
運 輸	減価償却費	27,185	27,741	556
	EBITDA	60,128	55,428	△ 4,700
不 動 産	減価償却費	11,558	12,146	587
	EBITDA	30,257	30,065	△ 191
流 通	減価償却費	7,049	7,606	556
	EBITDA	14,833	12,758	△ 2,074
ホテル・レジャー	減価償却費	4,392	4,478	86
	EBITDA	10,577	785	△ 9,791
そ の 他	減価償却費	1,728	1,630	△ 97
	EBITDA	3,219	3,212	△ 7
調 整	減価償却費	281	320	38
	EBITDA	959	1,053	94
連 結	減価償却費	52,196	53,924	1,728
	EBITDA	119,975	103,304	△ 16,671

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、国内の消費需要が著しく減少

- ・鉄軌道・・・4月の鉄道定期外収入は74.6%減
- ・百貨店・・・4月8日より順次、食品売場を除いて臨時休業。
百貨店全店舗の売上高は3月が前年比29.3%減、
4月が前年比63.0%減（速報値）
- ・ホテル・・・シェラトン都ホテル東京・シェラトン都ホテル大阪、
都ホテル 京都八条を除き4月下旬より臨時休業。
4月の平均稼働率は前年比79.7ポイント減の4.6%

- ・2021年3月期の業績見通しについて

→流行の終息見通しが不透明であり、業績への影響を合理的に算定することが困難



連結業績予想を「未定」として公表

ご質問につきましては、下記までお問合せください

経理部 IR担当

Tel : 06-6775-3465

Fax : 06-6775-3691

Mail : ir-info@rw.kintetsu.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。